

「経営学を学んでみんなの役に立つ」 森 直哉 教授

概略：

皆さんが知りたいことは、「経営学を学んで自分自身と世の中のために、どう役に立つのか」だろうと思います。そもそも何の役に立つのかを思い描けなければ、自分自身の進路志望も描きにくいでしょう。できるだけ少ないヒト・モノ・カネをインプットして、消費者が欲しがる商品・サービスをアウトプットする。そのための工夫を学ぶのが経営学です。たとえば、大量の食材を使ってまずいラーメンを作っている企業は、かなりの費用をかけているのに消費者を満足させていません。これではビジネスを続ける能力も値打ちもないでしょう。そうならないための経営学でして、貴重な資源を消費者の豊かな生活につなげることによって、世の中の役に立ちます。